国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

令和６年９月５日
東北地方整備局

第１回「NIPPON 防災資産」に栗駒山麓ジオパークが初認定
認定式を開催します

内閣府及び国土交通省では、地域で発生した災害の状況を分かりやすく伝える施設や災害の教訓を伝承する活動などを「NIPPON防災資産」として認定する制度を令和6年5月に創設しました。

この度、東北地方で優良認定1件、認定1件（栗駒山麓ジオパーク）の計2件が選定された事を受け、栗駒山麓ジオパークに対して認定式を開催します。

なお、優良認定の3．11伝承ロードについては、9月5日に松村祥史内閣府特命担当大臣（防災）と斉藤鉄夫国土交通大臣連名による認定証を授与します。

１．認定式

１）日　時　令和６年９月９日（月）１１時００分～
（開場時間：１０時３０分）

２）場　所　東北地方整備局　１３階　水災害予報センター
（宮城県仙台市青葉区本町３－３－１　仙台合同庁舎Ｂ棟）別紙①のとおり

３）出席者　栗原市長
東北地方整備局長

ロゴマーク

２．取材について

１）認定式の撮影・取材を希望される報道関係者の方は、９月６日（金）１５時までに、別紙②の取材申込書を記入の上、電子メールにて必ずお申し込みください。

２）当日は、１０時５０分までに東北地方整備局１３階水災害予報センター入口付近の報道受付までお越しください。

３）駐車場の用意はありませんのでご了承ください。

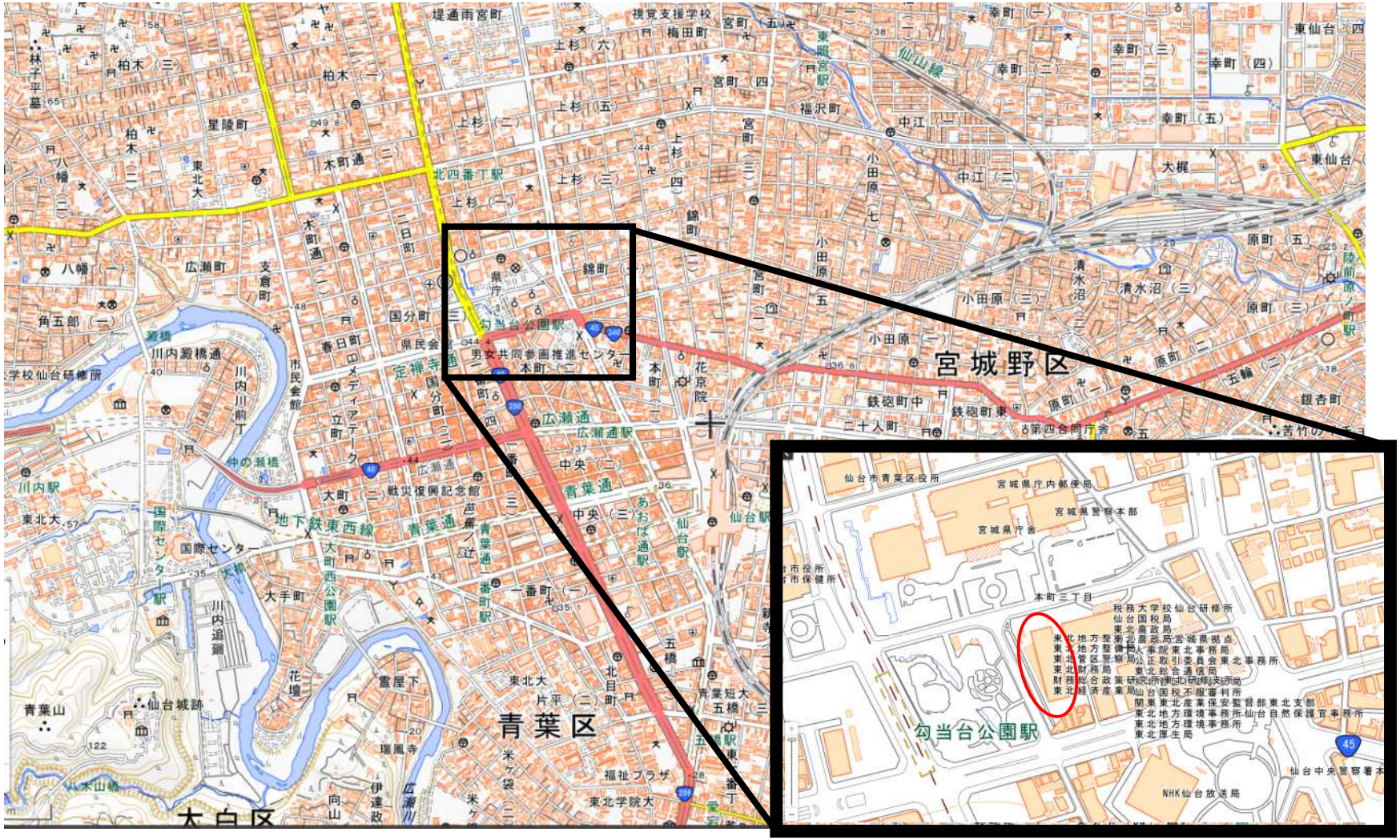
＜発表記者会＞
宮城県政記者会、東北電力記者会、東北建設専門紙記者会

問　い　合　わ　せ　先

国土交通省　東北地方整備局　河川部 河川計画課長　諸橋（もろはし）　拓実（たくみ）　（内線 3611）
課長補佐　須藤（すとう）　誠元（のぶゆき）　（内線 3613）
TEL 022-225-2171（代表）

別紙①

会　場　案　内



会　場　東北地方整備局
（仙台市青葉区本町３－３－１　仙台合同庁舎B棟）

出典：地理院地図に場所等を追記して掲載

別紙②

「第１回 NIPPON 防災資産認定式」取材申込書

１．　貴社名　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

２．　取材者人数　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿名＿＿＿＿＿＿

（ふりがな）

３．　氏名　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

氏名　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

氏名　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

４．　代表者の連絡先　　携帯電話

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

※当日に連絡がとれる番号を記入願います。

メールアドレス

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

申込み先　メール：　kasai-y82ad@mlit.go.jp

※取材申込書に記載されている情報は、本目的以外には使用いたしません。

「NIPPON防災資産」の認定制度について

○ 内閣府、国土交通省では、地域で発生した災害の状況を分かりやすく伝える施設や災害の教訓を伝承する活動※などを「NIPPON防災資産」として認定する制度を新たに創設（令和６年５月）。
［内閣府特命担当大臣（防災担当）、国土交通大臣が認定］
※活動：語り部、防災に係る催事、防災ツアー等

○ 今後、認定された防災資産を通じて、住民の方々が過去の災害の教訓や今後の備えを理解することで、災害リスクを自分事化し、主体的な避難行動や地域に貢献する防災行動につなげていく。

背景

○近年、全国各地で災害が発生し、災害後には「まさか自分が被災者になるとは‥」という声が発せられるなど、多くの人が災害を自分のこととしてとらえていない。
○一方で、過去の災害の伝承により、命が救われた事例もある。

災害リスクの自分事化に向けて

○認定された防災資産を通じて、住民の方々が過去の災害の教訓や今後の備えを理解することで、「災害リスクを自分事化」し、主体的な避難行動や地域に貢献する防災行動につなげる。

内閣府特命担当大臣（防災担当）、国土交通大臣による認定

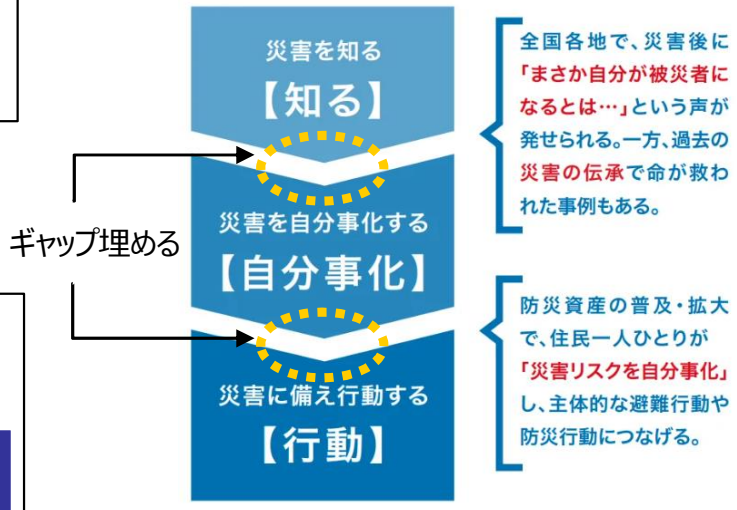
○内閣府特命担当大臣（防災担当）、国土交通大臣が認定を実施。
「優良認定」、「認定」に区分。

・「NIPPON防災資産」認定証の授与
・ウェブサイト等でコンテンツを紹介

防災資産の普及・拡大によりこの国に暮らすひとりひとりが、災害リスクを自分事化し、主体的な防災行動へ

NIPPON 防災資産

ロゴマーク



栗駒山麓ジオパーク

【宮城県栗原市】

■平成20年岩手・宮城内陸地震で被災した、栗駒山麓崩落地の地形・景観を防災教育、学術研究、観光などに多目的に活用し既存の観光資源と結びつけながら、ジオパークという手法を活用して持続可能な地域づくりに向けた様々な事業を展開。平成27年9月4日に日本ジオパークに認定された。

■「安全にわかりやすくこの地域を案内するサービス」を提供するジオガイドが、ジオパークの魅力だけでなく岩手・宮城内陸地震、東日本大震災という2度の大地震の記憶を伝えている。

■栗駒山麓ジオパークビジターセンター（平成31年4月開設）では地域内外に情報発信し、体験や学習の場を提供している。

■令和5年12月14日日本ジオパーク委員会より2度目の再認定。



▲荒砥沢地すべりと栗駒山麓ジオパークパンフレット
岩手・宮城内陸地震により発生した日本最大級の地すべり







▲ジオガイドの創意工夫による質の高いインタープリテーションの提供





▲栗駒山麓ジオパークビジターセンター 体験型学習



▲R5年12月14日
栗駒山麓ジオパーク再認定

【出典：栗駒山麓ジオパークホームページ（栗原市商工観光部ジオパーク推進室）】